

主要地方道水沢米里線館山地区土砂災害対策道路事業 ブロック3・4仮設工完了！切土工事に着手します！

県南広域振興局土木部

主要地方道水沢米里線館山地区において、平成29年にモルタル吹付部分が崩落し一般車両を巻き込む被害があったことから、周辺の危険度を調査し事業範囲全体を7つのブロックに分けて土砂災害対策道路事業を実施しています。令和6年度までにブロック6・7が完成、令和7年度はブロック3・4の仮設工工事として支障木伐採や仮設防護柵の設置、道路拡幅を実施しました。**令和8年度からはブロック3・4の大規模な切土工事**が始まります。

【事業箇所図】

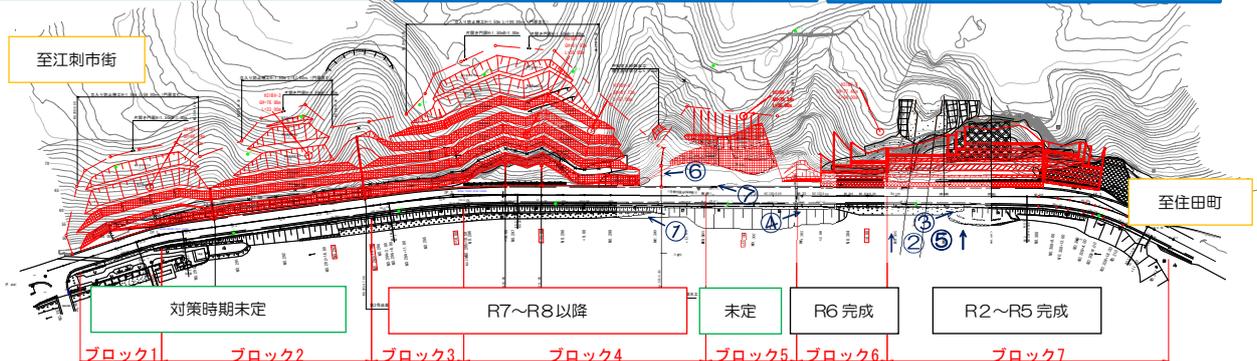
【事業概要】



※迂回路 ー-ー-ー 工事施工中は全面通行止め



事業名称：土砂災害対策道路事業（国庫補助事業）
事業延長：420.0m ※令和5年度までは防災安全交付金
事業期間：平成29年～令和8年度以降
対策工法：ブロック1～5 吹付法砕工、植生基材吹付工
 ブロック6～7 PCWパネル、
 グラウンドアンカー工
工事費：ブロック6・7 約18億円（実績）
 ブロック3・4 約10億円（予定）



【事業計画平面図】

【ブロック6・7工事 令和2年度～令和6年度】

ブロック6・7は不安定な部分を掘削せずに斜面下方からも施工可能なPCW工法（グラウンドアンカー併用）を採用しました。令和5年度にブロック7、令和6年度にブロック6が完成し、平成29年の崩落箇所を含む最も優先度の高い区間の対策が完了し安全な通行が確保されました。



④令和6年度 ブロック6完成



⑤令和4年度 ブロック7施工中

高さ：約40m

【ブロック3・4工事 令和7年度～令和8年度以降】

令和7年度は切土工事に向けて支障木伐採、車道部の拡幅（既設歩道撤去）及び仮設防護柵の設置を行いました。令和8年度より切土工事に着手します。切土部分のほとんどが高所法面掘削（RCM工法）を予定しています。



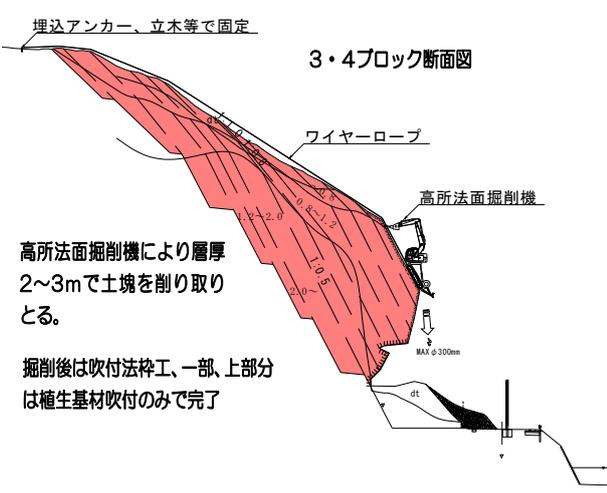
⑥令和7年度 仮設防護柵施工状況

R8年度も施工中は全面通行止めを予定していますが、掘削後の法面の状況によっては安全のため「工事期間中全面通行止め」の可能性もあります。



⑦令和8年度以降 切土工事 着手前

高さ：約50m
延長：112m



【事業実施にあたり】

- ・ 地域の生活道路や緊急輸送路であるとともに、近隣に観光施設や工業団地があるため、通行規制による影響や渋滞が懸念されましたが、適切な周知や迂回路案内に努め、通行者の御理解と御協力いただくことにより安全な工事を進めることができます。
- ・ 法面上部の背後地側には、城址、史跡公園などの歴史的施設が隣接しており、関係機関と調整を図りながら進めています。
- ・ 約20,000m³の破碎岩が発生するため、可能な限り他工事への流用を調整していきます。